

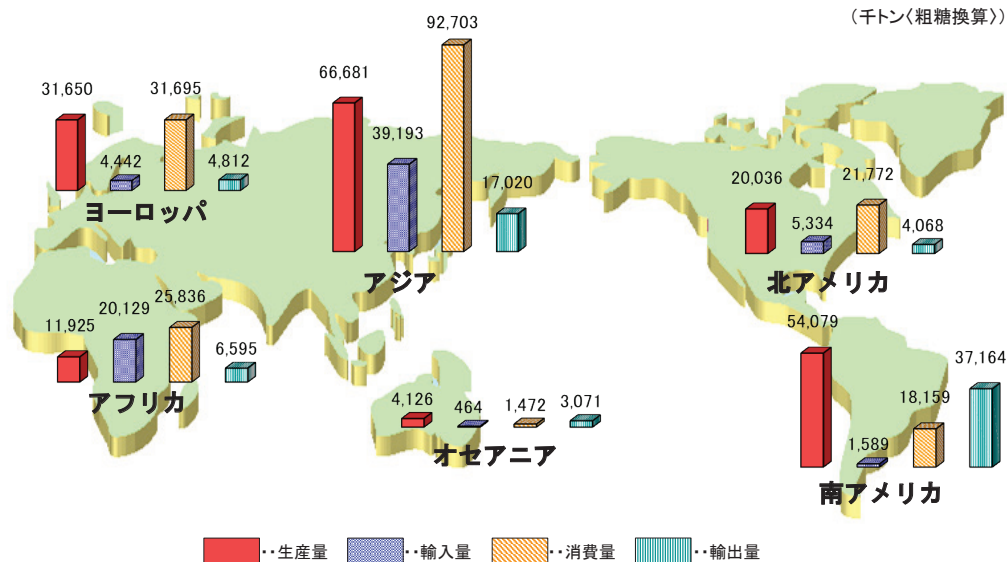


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星、峯岸 啓之

1 世界の砂糖需給（2025年6月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, June 2025」

注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

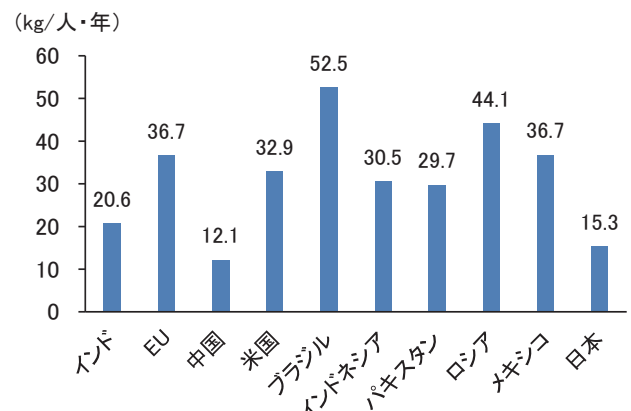
GlobalData UK Ltd.による2025年6月時点の予測によると（以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述）、2024/25砂糖年度（10月～翌9月）の世界の砂糖生産量は、1億8850万トン（粗糖換算（以下、特段の断りがない限り砂糖に関する数量は粗糖換算）、前年度比3.8%減）とやや減少が見込まれている（表）。生産量第1位のブラジルや同第2位のインドで減産が見込まれる一方、EU、中国およびタイでは増産が見込まれている。

また、同年度の世界の砂糖消費量は、1億9164万トン（同0.1%増）と前年度並みが見込まれている。消費量第2位の中国、同第3位のEUでは増加が見込まれているものの、同第1位のインドに加えて米国およびブラジルでは減少が見込まれている。

この結果、期末在庫率は前年度から2.5ポイント減少し、39.9%と見込まれている。地域別の砂糖

需給の予測値は、図1の通りである。また、主要消費国・地域の1人当たり砂糖消費量は図2の通りである。

図2 1人当たり砂糖消費量（2024/25年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, June 2025」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：EUには、英国を含む。

注3：主要消費国・地域上位9カ国・地域および日本を表示。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン〈粗糖換算〉、%)

年 度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	47,825	116,772	31,638	112,814	32,488	50,933	45.1
1999/00	67,546	133,241	36,640	127,777	39,764	69,886	54.7
2004/05	70,855	144,284	47,195	146,617	50,919	64,798	44.2
2009/10	64,176	159,904	55,867	164,385	55,976	59,585	36.2
2014/15	75,862	183,662	60,943	176,956	62,497	81,014	45.8
2019/20	90,184	181,821	69,494	182,907	71,628	86,965	47.5
2020/21	86,965	181,965	66,802	185,498	67,991	82,243	44.3
2021/22	82,243	186,385	69,295	188,750	71,093	78,080	41.4
2022/23	78,080	190,658	70,639	190,938	71,019	77,419	40.5
2023/24	77,419	195,919	76,218	191,473	76,815	81,269	42.4
2024/25 (2025年6月予測)	81,269	188,498	71,151	191,638	72,730	76,550	39.9

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, June 2025」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

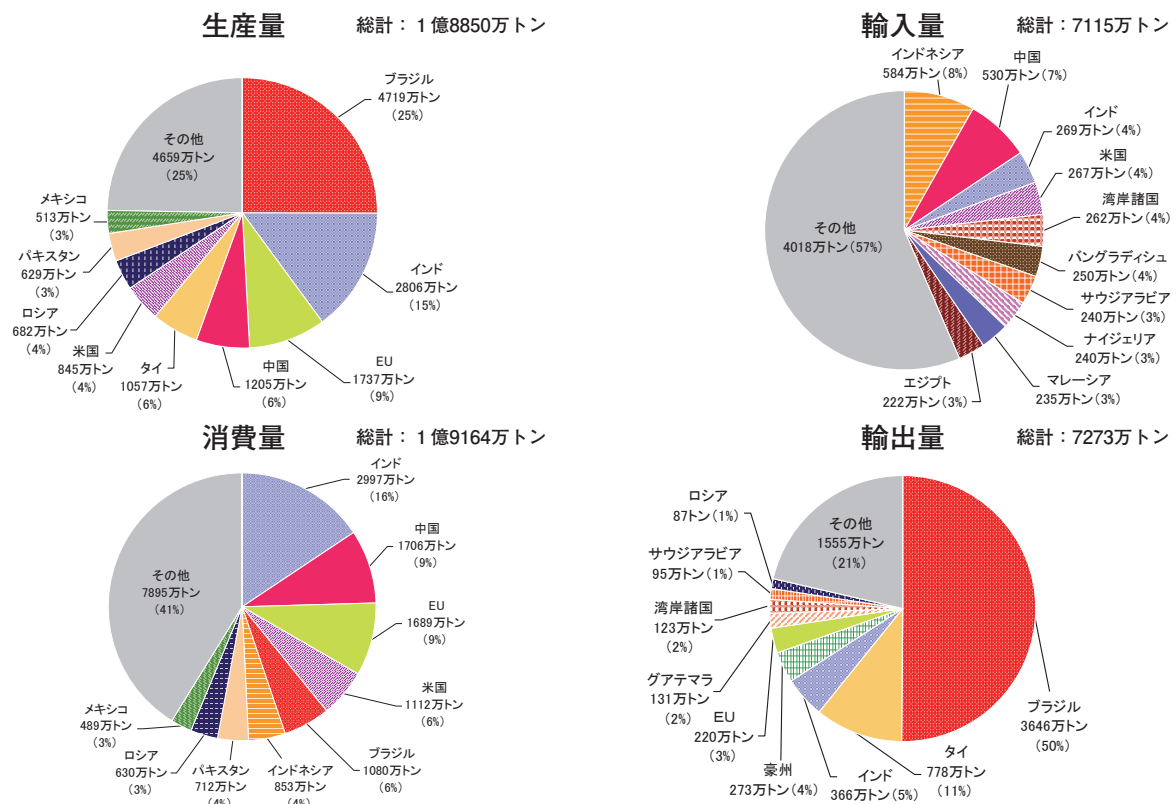
注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

2 主要国の砂糖需給（2025年6月時点予測）

図 主要国の生産量、輸入量、消費量、輸出量（2024/25年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, June 2025」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：各数量においては、その主要国とその他を表示。カッコ内はシェア (%)

注3：「その他」は、総計から主要国の計を差し引いた数値。

注4：端数処理の関係で内訳の合計が総計と一致しないまたは100%にならない場合がある。

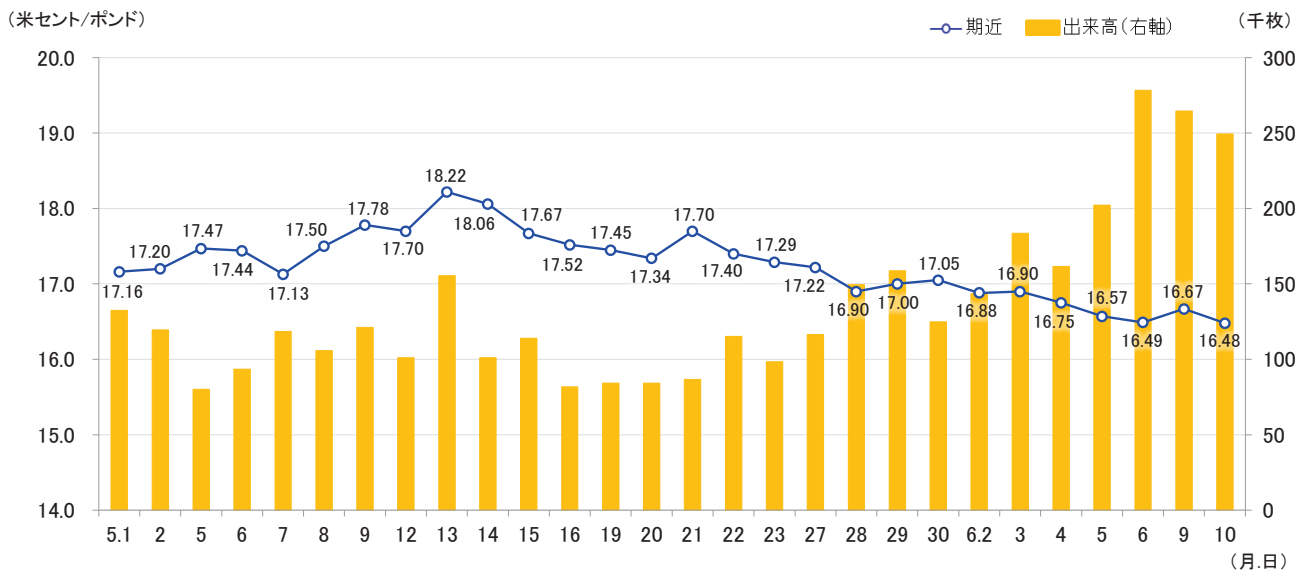
注5：EUは、英国を除く27カ国。また、湾岸諸国とは、湾岸協力理事会（GCC）のうち、アラブ首長国連邦、バーレーン、カタール、オマーンの4カ国を指す。

3 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（5/1～6/10）

～世界的な砂糖の余剰見通しから、4年ぶりに16セント台まで下落～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近7月限の値。

2025年5月のニューヨーク粗糖先物相場（7月^{がつ}限^{ぎり}）の推移を見ると、1日はブラジル産砂糖の増産予測から1ポンド当たり17.16セント（注1）と前取引日から下落し、2日以降は、ドル安（注2）で緩やかに上昇した。6日以降は、ブラジル産砂糖の増産予測で下落するも、8日以降は、原油高（注3）により上昇傾向となり、13日は同18.22セントをつけた。14日以降は、ドル安とブラジルの減産報告から一時的に上昇した21日を除き、世界的な砂糖の余剰見通しから下落傾向となり、28日には約4年ぶりとなる16セント台を記録した。29日以降は、ブラジル産砂糖の減産から小幅な上昇となり、30日は同17.05セントとなった。

6月に入り、2日は2025/26年度のインド産砂糖の増産見通しで同16.88セントと下落した。3日以降も原油高と砂糖の余剰見通しから下落傾向とな

り、10日は同16.48セントをつけた。

（注1）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注2）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が弱まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

（注3）一般に、原油価格が上昇すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も増加する。バイオエタノールの需要増加により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が減ると想定される。食品用途仕向けの場合、度合いが小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。

4 世界の砂糖需給に影響する各国の動向（2025年6月時点予測）

ブラジル

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し	
【サトウキビ】	【砂糖（甘しや糖）】
収穫面積：871万ha（前年度比1.6%減）	生産量：4722万トン（同0.1%増）
生産量：6億4300万トン（同5.3%減）	輸出量：3594万トン（同1.4%減）

2025/26年度のサトウキビ生産量はやや減少を見込む

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、1月から3月の降水量が平均を下回ったことや圃場の更新により、871万ヘクタール（前年度比1.6%減）とわずかな減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、年初から乾燥した天候が続く、単収が前年度を下回る見込みであることから、6億4300万トン（同5.3%減）とやや減少が

見込まれている。
砂糖生産量は、サトウキビが減産見込みであるものの、製糖企業がサトウキビの砂糖仕向け割合を増加させるとの見通しから、4722万トン（同0.1%増）と前年度並みが見込まれている。砂糖輸出量は、3594万トン（同1.4%減）とわずかな減少が見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。

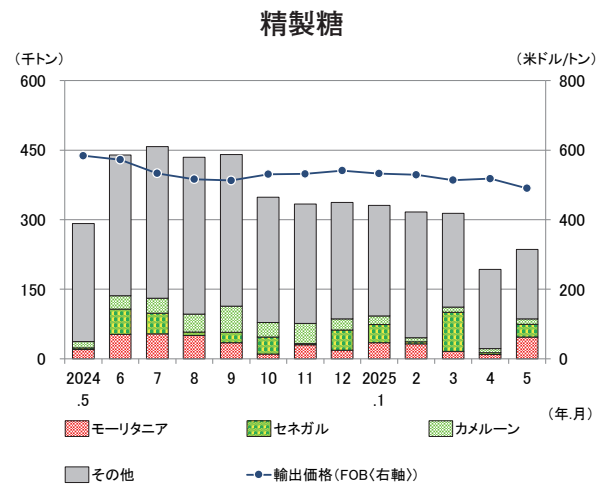
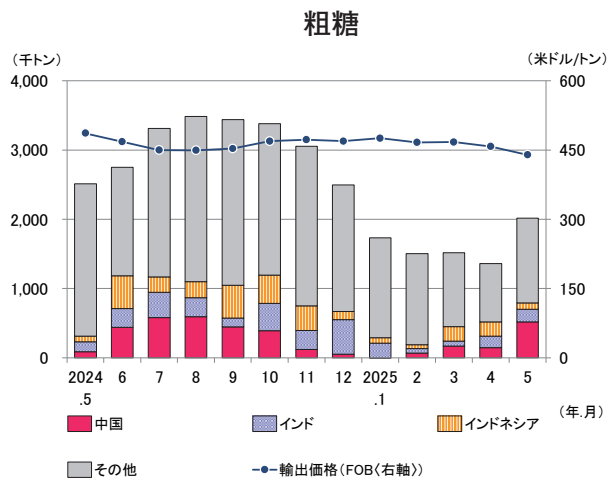
表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (5月予測)	2025/26 (6月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		8,421	8,408	8,855	8,738	8,710	▲ 1.6%
サトウキビ生産量		606,676	713,134	678,676	642,500	643,000	▲ 5.3%
砂糖	生産量	39,700	49,320	47,190	47,380	47,220	0.1%
	輸入量	2	5	4	4	5	8.3%
	消費量	10,928	10,965	10,800	10,864	10,864	0.6%
	輸出量	28,985	37,678	36,461	36,096	35,938	▲ 1.4%
	期末在庫量	1,945	2,627	2,560	3,060	2,983	16.5%
期末在庫率		4.9	5.4	5.4	6.5	6.4	1.0ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2025」
注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

インド

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：498万ha（前年度比10.2%減）

生産量：3億9028万トン（同12.2%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：2806万トン（同19.1%減）

輸出量：366万トン（同16.5%減）

2024/25年度の砂糖生産量および輸出量は大幅に減少する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、主産地での競合作物への転作などから498万ヘクタール（前年度比10.2%減）とかなりの程度減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、干ばつと一部地域で発生した赤腐病（red rot）^{（注）}の影響により、3億9028万トン（同12.2%減）とかなり大きく減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産とエタノールへの転用により、2806万トン（同19.1%減）と大幅な減少が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の減産や輸出制限の継続により、366万トン（同16.5%減）と2年連続で大幅な減少が見込まれている。

（注）真菌の感染によって引き起こされ、茎の内部の腐敗や褐変により、サトウキビの単収や砂糖の回収率に深刻な影響を及ぼすとされる。

表 インドの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (5月予測)	2024/25 (6月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	5,222	5,441	5,544	5,028	4,976	▲ 10.2%
サトウキビ生産量	481,599	455,898	444,739	394,704	390,276	▲ 12.2%
砂糖	生産量	38,559	35,389	27,949	28,056	▲ 19.1%
	輸入量	427	1,687	2,701	2,689	▲ 14.1%
	消費量	29,516	30,078	30,456	29,970	▲ 2.9%
	輸出量	12,468	8,646	3,616	3,657	▲ 16.5%
	期末在庫量	7,934	6,285	3,953	5,955	▲ 32.6%
	期末在庫率	18.9	16.2	25.1	17.7	7.4ポイント減

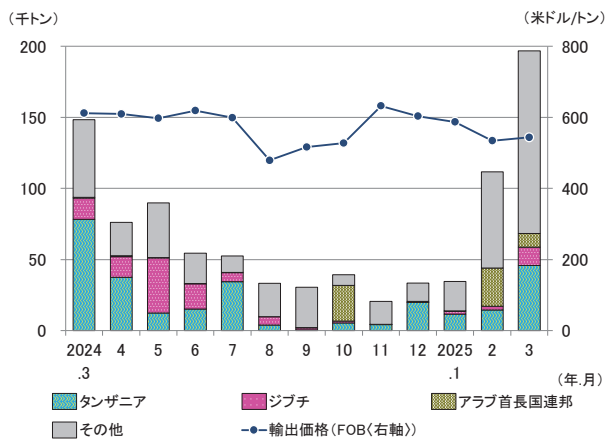
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

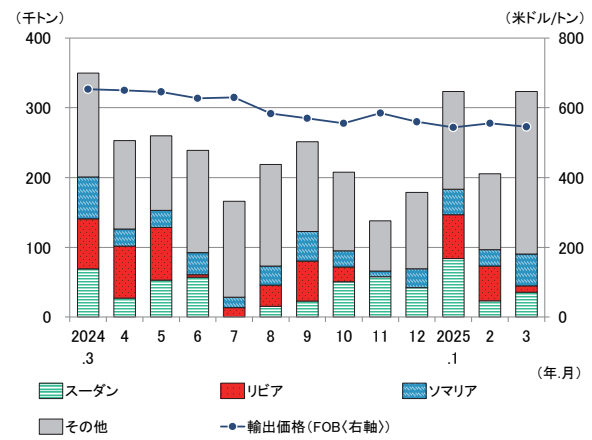
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



中国

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：118万ha（前年度比9.0%増）

生産量：7220万トン（同1.3%減）

【てん菜】

収穫面積：22万ha（同29.3%増）

生産量：1349万トン（同43.8%増）

【砂糖（甘しゅ糖およびてん菜糖）】

生産量：1205万トン（同11.8%増）

輸入量：530万トン（同29.2%減）

2024/25年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、118万ヘクタール（前年度比9.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区で高温干ばつが続いていることから、7220万トン（同1.3%減）とわずかに減少が見込まれている。

てん菜の収穫面積は、生産者が需要や価格の優位性により、大豆やトウモロコシなどの競合作物から転換したことで、22万ヘクタール（同29.3%増）

と大幅な増加が見込まれている。てん菜生産量は、収穫面積の増加と良好な生育状況により、1349万トン（同43.8%増）と大幅な増加が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜の増産を背景に1205万トン（同11.8%増）とかなり大きな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されているものの、国内の生産見通しが改善していることから、530万トン（同29.2%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

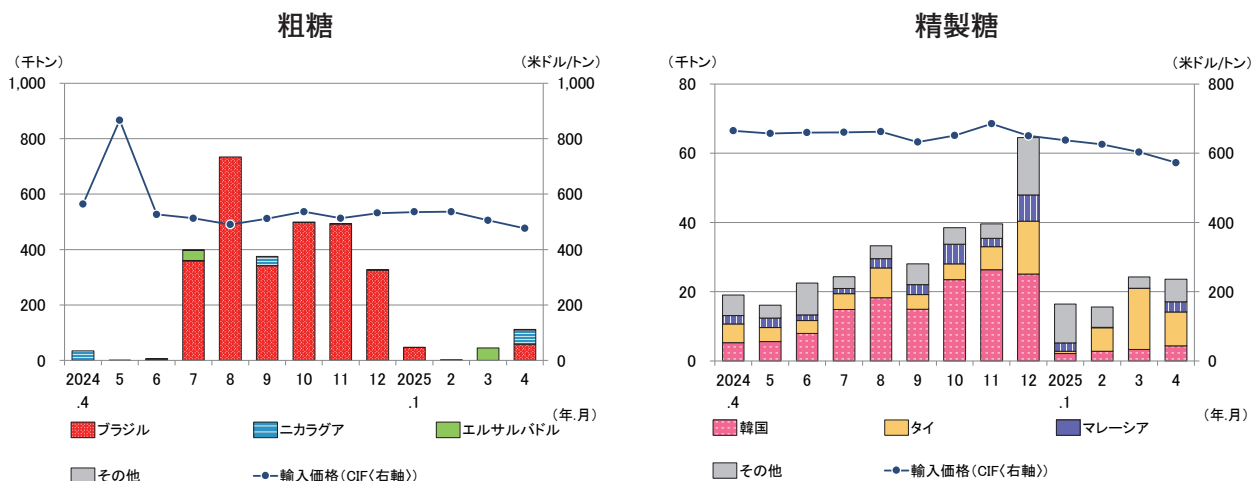
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (5月予測)	2024/25 (6月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,119	1,102	1,083	1,180	1,180	9.0%
サトウキビ生産量	72,136	62,595	73,132	72,175	72,196	▲1.3%
てん菜収穫面積	144	182	167	218	216	29.3%
てん菜生産量	7,070	8,719	9,377	13,498	13,485	43.8%
砂糖	生産量	10,337	9,699	10,773	11,847	11.8%
	輸入量	6,971	5,886	7,479	5,323	▲29.2%
	消費量	16,632	16,578	16,740	17,064	1.9%
	輸出量	172	201	179	166	▲6.7%
	期末在庫量	15,365	14,171	15,505	15,446	0.7%
	期末在庫率	91.4	84.5	91.6	89.6	1.0ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：2024年5月および2025年2月の粗糖輸入量は、千トン未満。

5 日本の主要輸入先の動向（2025年6月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しや糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2024年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.2%（前年比1.4ポイント減）、タイが9.7%（同1.3ポイント増）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪 州

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比0.0%増）

生産量：2940万トン（同5.8%増）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：400万トン（同6.0%増）

輸出量：300万トン（同9.8%増）

2025/26年度の砂糖生産量と輸出量はかなりの程度増加する見込み

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比0.0%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、一定の労働力が確保され、また、前年度と比較してより生育に適した季節的条件が整うとの見通しから、2940万トン（同5.8%増）とやや増加が見込まれている。しかし、2025年1月末以降、サトウキビ生産の9割を占めるクイーンズランド州では豪雨による洪水が発生しており、年間約450万トンのサトウキビが収穫される同州ハーバート地域では、最大100万トンのサトウキビの収穫機会が喪失したともされている（注）。現在も一部地域の圃場では過湿状態が続いており、サトウキビの成長への影響が懸念されている。

の影響が懸念されている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産などにより400万トン（同6.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域向けを中心に引き続き多くの需要があることから、300万トン（同9.8%増）とかなりの程度増加が見込まれている。

（注）クイーンズランド州の洪水被害の詳細については、（1）2025年2月14日付け海外情報「主産地での洪水によりサトウキビ生産に大きな被害（豪州）」＜https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_004033.html＞、（2）3月12日付け海外情報「豪州、砂糖の中期的見通しと洪水被害の状況（豪州）」＜https://alic.go.jp/chosa-c/joho01_004056.html＞、（3）3月26日付け海外情報「洪水被害を受けたサトウキビ生産者に対し、追加支援を決定（豪州）」＜https://alic.go.jp/chosa-c/joho01_004071.html＞および以下の二次元コードをご参照ください。

【各記事の二次元コード】



表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、％）

年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 （5月予測）	2025/26 （6月予測）	前年度比 （増減率）
サトウキビ収穫面積	331	341	345	345	345	0.0%
サトウキビ生産量	32,593	29,274	27,780	29,400	29,400	5.8%
砂糖	生産量	4,298	4,128	3,779	4,004	6.0%
	輸入量	8	10	14	9	▲ 16.8%
	消費量	996	995	1,005	1,014	0.9%
	輸出量	2,942	3,356	2,733	2,999	9.8%
	期末在庫量	1,180	966	1,021	967	▲ 0.0%
	期末在庫率	30.0	22.2	27.3	24.1	1.9ポイント減

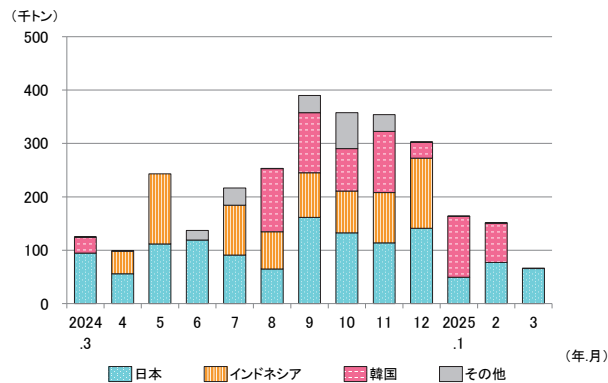
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

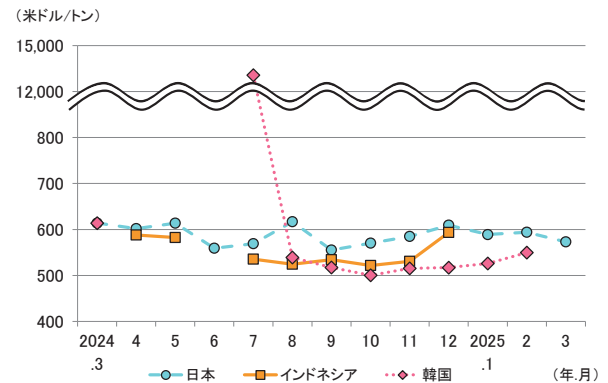
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移

輸入量



輸入価格 (CIF価格)



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2025」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その後は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：韓国の2024年4月、5月、6月、25年3月の輸入量は実績なし。24年7月の輸入量は、千トン未満。

注5：インドネシアの2024年3月、6月、25年1月、2月、3月の輸入量は実績なし。

タイ

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：167万ha（前年度比10.0%増）

生産量：9204万トン（同12.0%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：1057万トン（同13.5%増）

輸出量：778万トン（同32.1%増）

2024/25年度の砂糖生産量はかなり大きく、輸出量は大幅に増加する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、167万ヘクタール（前年度比10.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の増加と良好な気象条件により9204万トン（同12.0%増）とかなり大きな増加が見込まれている。現地報道によると、24/25年度のサトウキビの圧搾は4月8日に終了したとされている。また、サトウキビ・砂糖委員会事務局（OCSB）が焼き畑^{（注1）}で収穫されたサトウキビを減らすための取り組みを推進したことで、

焼き畑のサトウキビ収穫割合は15%程度に抑えられたとされている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産とCCS^{（注2）}の増加により、1057万トン（同13.5%増）とかなり大きな増加が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産やブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に778万トン（同32.1%増）と大幅な増加が見込まれている。

（注1）サトウキビの梢頭部や葉を燃やした後に収穫する方法。

（注2）可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (5月予測)	2024/25 (6月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,525	1,514	1,518	1,670	1,670	10.0%
サトウキビ生産量	91,145	93,888	82,167	92,100	92,043	12.0%
砂糖	生産量	10,643	11,688	10,574	10,574	13.5%
	輸入量	148	318	425	425	71.0%
	消費量	3,424	3,348	3,219	3,219	1.0%
	輸出量	7,867	8,002	7,777	7,777	32.1%
	期末在庫量	1,951	2,606	3,095	3,098	0.1%
	期末在庫率	17.3	23.0	34.1	28.2	5.9ポイント減

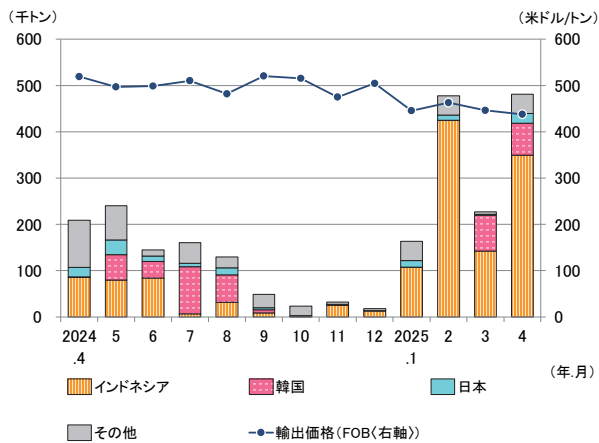
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

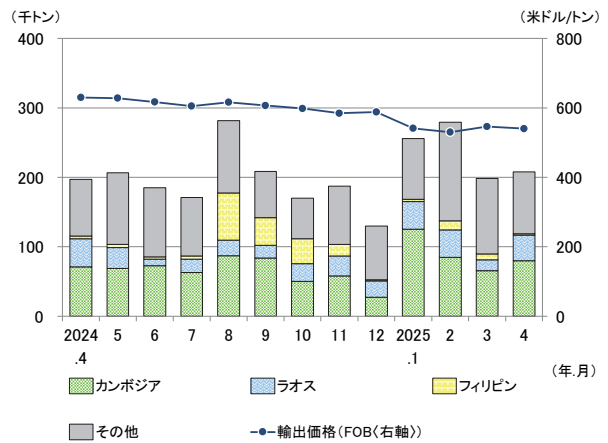
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。